

# 令和4年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	佐賀県	市町村類型	施行時特例市	指定団体等の指定状況		区分		令和4年度(千円)	令和3年度(千円)	区分		令和4年度(千円・%)	令和3年度(千円・%)						
				財政健全化等	×	歳入総額	113,882,747			118,726,278	実質収支比率			3.8	5.6				
市町村名	佐賀市	地方交付税種地	1-5	財源超過	×	歳出総額	110,932,324	114,767,392	経常収支比率	93.8	89.2	(97.1)	(94.1)						
				首都	×	歳入歳出差引	2,950,423	3,958,866	(※1)	標準財政規模	55,093,331			56,299,975					
				近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	848,984	818,926	実質収支						2,101,439	3,139,960	財政力指数	0.64	0.64
				中部	×	実質収支	-1,038,521	1,595,842	単年度収支						1,608,624	1,612,215	公債費負担比率	13.9	14.0
人口	令和2年国調(人)	233,301	産業構造(※5)		過疎	○	積立金	1,608,624	1,612,215	健全化判断比率									
	平成27年国調(人)	236,372			山振	○	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-							
	増減率(%)	-1.3			低開発	○	積立金取崩し額	663,214	0	連結実質赤字比率	-	-							
	令和2年国調(人)	229,427			指数表選定	○	実質単年度収支	-93,111	3,208,057	実質公債費比率	2.0	1.7							
住民基本台帳人口(※7)	うち日本人(人)	227,365	第1次	5,901	6,668	基準財政収入額	29,084,989	27,359,451	資金不足比率(※4)										
	令和4.01.01(人)	230,316		5.4	6.1								基準財政需要額	45,308,049	44,730,060				
	うち日本人(人)	228,644	第2次	20,742	21,156								標準税収入額等	36,956,142	34,721,771				
	増減率(%)	-0.4		18.8	19.3								経常経費充当一般財源等	53,187,881	52,154,624				
うち日本人(%)	-0.6	第3次	83,465	81,520	歳入一般財源等	67,649,594	66,358,708												
面積(km <sup>2</sup> )	431.82		75.8	74.6															
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	540																		
世帯数(世帯)	96,874																		
職員の状況(※8)																			
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	92,405,727	94,302,663								
	市区町村長	1	10,390		一般職員	1,442	4,709,572	3,266	うち公的資金	66,605,821	68,899,435								
	副市区町村長	2	8,200		うち消防職員	-	-	-	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	54,958,514	54,990,318								
	教育長	1	6,790		うち技能労務職員	121	417,571	3,451	債務負担行為額(支出予定額)	13,409,136	12,897,019								
	議会議長	1	6,920		教育公務員	16	55,307	3,457	収益事業収入	-	-								
	議会副議長	1	6,070		臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	3,099,575	3,097,437								
	議会議員	34	5,530		合計	1,458	4,764,879	3,268	財政調整基金	8,937,410	7,991,990								
					ラスバイレス指数				98.7	積立金現在高	5,508,528	6,046,748							
										減債基金	8,908,874	8,935,720							
										その他特定目的基金									
一般会計等の一覧																			
項番	会計名	事業会計の一覧	項番	会計名	公営企業(法適)の一覧	項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧	項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧	項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧	項番	団体名	(※3)		
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(5)	自動車運送事業会計	(10)	佐賀東部水道企業団(用水供給事業)	(20)	佐賀市文化振興財団	○									
		(3)	国民健康保険診療所特別会計	(6)	水道事業会計	(11)	佐賀東部水道企業団(末端給水事業)	(21)	佐賀資源化センター	○									
		(4)	後期高齢者医療特別会計	(7)	下水道事業会計	(12)	佐賀西部広域水道企業団(用水供給事業)	(22)	熊の川温泉ちどりの湯	○									
				(8)	工業用水道事業会計	(13)	佐賀中部広域連合(消防特別会計)	(23)	佐賀市スポーツ協会	○									
				(9)	富士大和温泉病院事業会計	(14)	佐賀中部広域連合(介護保険特別会計)	(24)	佐賀市土地開発公社	○									
						(15)	天山地区共同衛生処理場組合	(25)	嘉瀬川水辺環境整備センター	○									
						(16)	天山地区共同斎場組合	(26)	スマイルアース	○									
						(17)	脊振共同産芥処理組合												
						(18)	三神地区環境事務組合												
						(19)	佐賀県市町総合事務組合(一般会計)												

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」「猶予特例債」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。  
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※8: 職員の状況については、令和4年度地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・%）					地方税の状況（単位 千円・%）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	31,634,122	27.8	30,245,123	55.2	普通税	30,231,282	95.6	702,661	
地方譲与税	758,542	0.7	758,542	1.4	法定普通税	30,231,282	95.6	702,661	
利子割交付金	12,964	0.0	12,964	0.0	市町村民税	14,861,044	47.0	702,661	
配当割交付金	104,570	0.1	104,570	0.2	個人均等割	405,095	1.3	-	
株式等譲渡所得割交付金	89,609	0.1	89,609	0.2	所得割	11,624,911	36.7	-	
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	883,219	2.8	147,123	
地方消費税交付金	5,884,749	5.2	5,884,749	10.7	法人税割	1,947,819	6.2	555,538	
ゴルフ場利用税交付金	37,166	0.0	37,166	0.1	固定資産税	12,844,994	40.6	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	12,732,688	40.2	-	
自動車取得税交付金	1,365	0.0	1,365	0.0	軽自動車税	807,249	2.6	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	1,717,995	5.4	-	
自動車税環境性能割交付金	52,644	0.0	52,644	0.1	鉱産税	-	-	-	
法人事業税交付金	558,018	0.5	558,018	1.0	特別土地保有税	-	-	-	
地方特例交付金等	269,082	0.2	269,082	0.5	法定外普通税	-	-	-	
個人住民税減収補填特例交付金	265,370	0.2	265,370	0.5	目的税	1,402,840	4.4	-	
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	3,712	0.0	3,712	0.0	法定目的税	1,402,840	4.4	-	
地方交付税	18,080,488	15.9	16,227,838	29.6	入湯税	13,841	0.0	-	
普通交付税	16,227,838	14.2	16,227,838	29.6	事業所税	-	-	-	
特別交付税	1,852,616	1.6	-	-	都市計画税	1,388,999	4.4	-	
震災復興特別交付税	34	0.0	-	-	水利地益税等	-	-	-	
(一般財源計)	57,483,319	50.5	54,241,670	99.0	法定外目的税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	50,670	0.0	50,670	0.1	旧法による税	-	-	-	
分担金・負担金	891,081	0.8	-	-	合計	31,634,122	100.0	702,661	
使用料	800,421	0.7	103,305	0.2					
手数料	940,676	0.8	-	-					
国庫支出金	24,826,607	21.8	-	-					
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-					
都道府県支出金	10,920,615	9.6	-	-					
財産収入	372,298	0.3	141,774	0.3					
寄附金	1,840,552	1.6	-	-					
繰入金	2,114,720	1.9	-	-					
繰越金	3,958,886	3.5	-	-					
諸収入	2,215,420	1.9	251,590	0.5					
地方債	7,467,482	6.6	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	1,900,000	1.7	-	-					
歳入合計	113,882,747	100.0	54,789,009	100.0					

(注釈)  
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳入の状況（単位 千円・%）				
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	566,570	0.5	-	565,846
総務費	14,006,736	12.6	2,871,917	8,966,265
民生費	45,031,188	40.6	871,164	18,660,434
衛生費	8,503,326	7.7	69,113	5,959,538
労働費	62,069	0.1	-	5,569
農林水産業費	4,578,778	4.1	1,542,380	2,390,623
商工費	3,132,463	2.8	104,271	1,884,036
土木費	9,140,136	8.2	3,743,843	5,522,732
消防費	4,056,142	3.7	219,491	3,735,010
教育費	10,982,983	9.9	2,133,394	7,227,082
災害復旧費	1,021,514	0.9	-	221,311
公債費	9,711,146	8.8	-	9,421,452
諸支出金	139,273	0.1	-	139,273
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	110,932,324	100.0	11,555,573	64,699,171

性別別歳入の状況（単位 千円・%）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	59,087,348	53.3	32,806,761	31,479,420	55.5
人件費	15,704,749	14.2	14,050,209	13,673,087	24.1
うち職員給	9,167,477	8.3	8,286,382	-	-
扶助費	33,671,453	30.4	9,335,100	8,384,881	14.8
公債費	9,711,146	8.8	9,421,452	9,421,452	16.6
元利償還金	9,711,127	8.8	9,421,433	9,421,433	16.6
うち元金	9,364,418	8.4	9,085,309	9,085,309	16.0
うち利子	346,709	0.3	336,124	336,124	0.6
一時借入金利子	19	0.0	19	19	0.0
その他の経費	39,267,889	35.4	29,678,904	21,708,461	38.3
物件費	13,588,637	12.2	8,822,420	7,246,799	12.8
維持補修費	1,898,990	1.7	1,656,808	1,656,562	2.9
補助費等	11,777,828	10.6	10,508,400	6,034,140	10.6
うち一部事務組合負担金	3,605,046	3.2	3,604,324	3,522,498	6.2
繰出金	8,624,469	7.8	7,022,823	6,770,960	11.9
積立金	2,446,845	2.2	1,668,386	-	-
投資・出資金・貸付金	931,120	0.8	67	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	12,577,087	11.3	2,213,506	-	-
うち人件費	165,797	0.1	165,797	-	-
普通建設事業費	11,555,573	10.4	1,992,195	-	-
うち補助	5,348,655	4.8	302,839	-	-
うち単独	5,844,871	5.3	1,589,109	-	-
災害復旧事業費	1,021,514	0.9	221,311	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	110,932,324	100.0	64,699,171	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和4年度 佐賀県佐賀市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	113,883	110,932	2,951	2,101	2,115	92,406	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							

### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

令和4年度

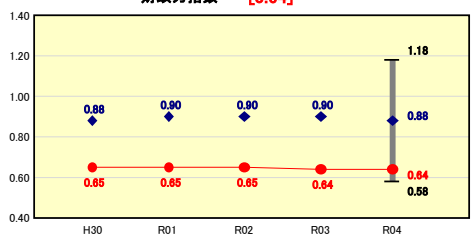
佐賀県佐賀市

人口	229,427	人(R5.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	227,365	人(R5.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	431.82	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	2.0	%
歳入総額	113,882,747	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	110,932,324	千円	市町村類型	H30 特例市 R01 特例市 R02 特例市	
実質収支	2,101,439	千円	(年度毎)	R03 特例市 R04 特例市	
標準財政規模	55,093,331	千円			
地方債現在高	92,405,727	千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

#### 財政力

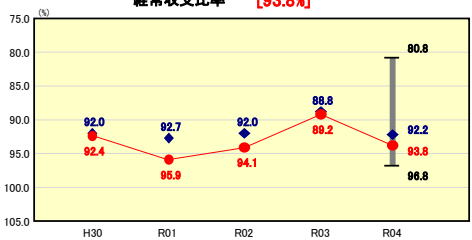


類似団体内順位 20/23 全国平均 0.49 佐賀県平均 0.50

**財政力指数の分析欄**

R4年度単年度の財政力指数は0.64であり、3年平均は前年度から変動していない。  
 安定した財政基盤を確立するため、産業振興や定住促進などを通じた市税収入の確保に努めるとともに、効果的、効率的な行財政経営に努める必要がある。

#### 財政構造の弾力性

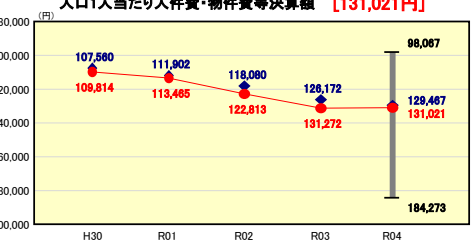


類似団体内順位 13/23 全国平均 92.2 佐賀県平均 90.5

**経常収支比率の分析欄**

前年度の89.2%から4.6ポイント増加して93.8%となった。  
 これは、経常的な歳入について、臨時財政対策債が約12億円減、地方交付税が約11億円減となるなど約18億円減少し、一方で、経常的な歳出については、定年退職者の増などによる人件費の約4.1億円増、公債費の約1.5億円増など約10億円増加したことによる。  
 依然として、類似団体平均を上回っているため、今後も自主財源の確保や事務事業の見直しによる経常的な支出の削減に努める必要がある。

#### 人件費・物件費等の状況

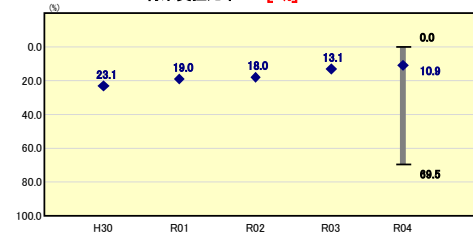


類似団体内順位 14/23 全国平均 180,081 佐賀県平均 170,298

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**

前年度に比べ251円減少している。  
 これは、新型コロナウイルスワクチン接種に係る物件費の減などが主な要因である。  
 類似団体平均より高い水準であり、会計年度任用職員を含めた定員管理の適正化などによる人件費の抑制を図るとともに、公共施設等総合管理計画に基づく施設の統廃合や事務事業の見直しによる支出の節減に努める必要がある。

#### 将来負担の状況

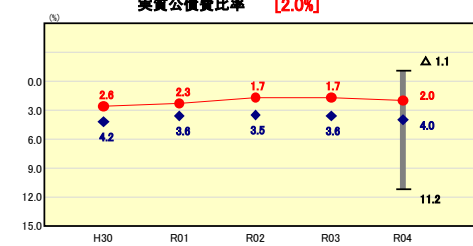


類似団体内順位 1/23 全国平均 6.8 佐賀県平均 0.0

**将来負担比率の分析欄**

下水道事業会計の企業債償還や、一般会計の小中学校の耐震補強や庁舎改修等で過去借入した合併特例事業債の償還が進んだことなどから、将来負担額が減少した。また、財政調整基金の充当可能財源等が増加したこと、将来負担額を上回りマイナスとなったため、将来負担比率は算出されていない。  
 類似団体内では最も健全な数値となっているが、今後も、将来世代の負担を軽減し、健全な財政運営を維持するため、地方債発行の抑制や基金残高の確保などに努めていく。

#### 公債費負担の状況

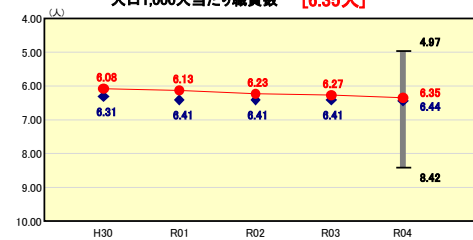


類似団体内順位 4/23 全国平均 5.5 佐賀県平均 7.0

**実質公債費比率の分析欄**

R4年度の実質公債費比率は、前年度の1.9%から2.7%に増加し、3年平均は1.7%から2.0%に増加した。  
 これは、普通交付税額、臨時財政対策債発行可能額が減となり、合併特例事業債、臨時財政対策債に係る償還額が増になったことなどによる。  
 類似団体平均と比べ、数値は低いため、今後も、普通建設事業等の見直しによる地方債の発行抑制や、交付税措置がある有利な地方債の借入を行うなどの取組に努めていく。

#### 定員管理の状況

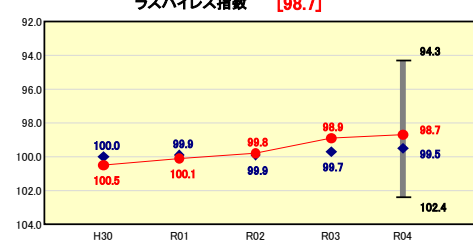


類似団体内順位 11/23 全国平均 8.25 佐賀県平均 7.83

**人口1,000人当たり職員数の分析欄**

人口1,000人当たり職員数が0.08人増加した。  
 これは、R6年度に開催となるSAGA2024国スポ・全障スポ大会に向け、臨時的に職員を増員したことなどによる。  
 事務事業の見直し、民間委託、人員の適正配置等による定数管理に努める必要がある。

#### 給与水準 (国との比較)



類似団体内順位 8/23 全国市平均 98.7 全国町村平均 96.3

**ラスパイレス指数の分析欄**

R4年度は98.7となり、類似団体平均を下回っている。  
 今後も、国や他の地方公共団体及び地域の民間企業の給与水準を考慮しながら適正化に努めるとともに、定員管理の適正化や早期退職希望者の募集の実施により人件費の抑制に努める必要がある。

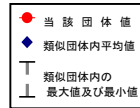
# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和4年度

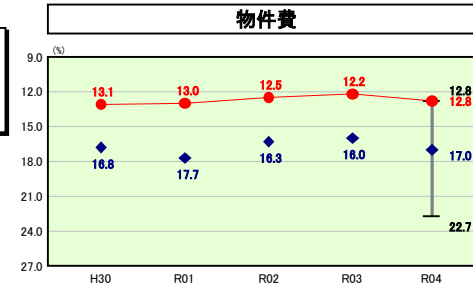
佐賀県佐賀市

## 経常収支比率の分析

人	229,427	人(R5.1.1現在)	実	赤	比	率	-	%
うち日本人	227,365	人(R5.1.1現在)	連	結	実	赤	比	率
面積	431.82	km <sup>2</sup>	実	負	担	費	比	率
歳入総額	113,882,747	千円	将	来	負	担	比	率
歳出総額	110,932,324	千円	市	町	村	類	型	H30 特例市 R01 特例市 R02 特例市
実質収支	2,101,439	千円	(	年	度	毎	)	R03 特例市 R04 特例市
標準財政規模	55,093,331	千円						
地方債現在高	92,405,727	千円						



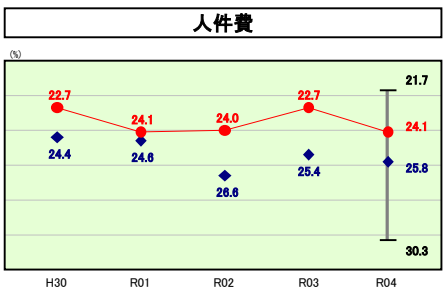
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 1/23 全国平均 14.9 佐賀県平均 12.6

**物件費の分析欄**

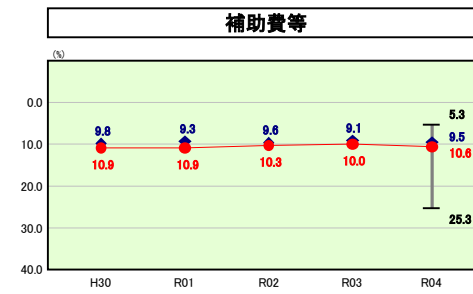
施設管理に係る業務委託のコスト増や小中学校ICT支援業務委託料の増などにより、経常収支比率が増加した。  
 類似団体内平均値を大きく下回っている状況であるが、公共施設等総合管理計画に基づく施設の統廃合などによる施設管理経費の削減や、経常的な事務事業の見直しを図り、コストの削減に努めていく。



類似団体内順位 7/23 全国平均 25.9 佐賀県平均 24.1

**人件費の分析欄**

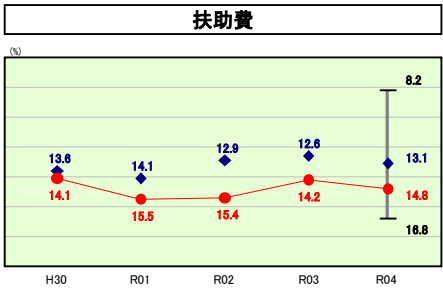
退職者数の増による退職手当の増、支給率改定による期末勤労手当の増などにより、経常収支比率は増加した。  
 今後も定員管理の適正化や早期退職希望者の募集の実施による人件費の抑制に努めていく。



類似団体内順位 18/23 全国平均 10.5 佐賀県平均 12.4

**補助費等の分析欄**

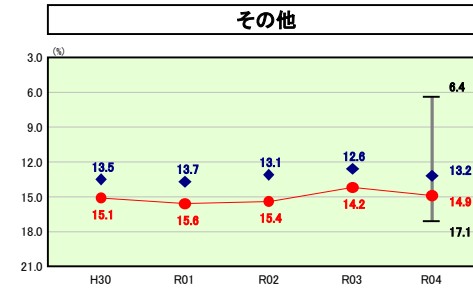
一部事務組合、公営企業会計への負担金、補助金の増などにより、経常収支比率は増加した。  
 経常的に類似団体平均を上回っているため、事業内容の精査や見直しを行い、適正な交付に努める必要がある。



類似団体内順位 18/23 全国平均 12.5 佐賀県平均 11.1

**扶助費の分析欄**

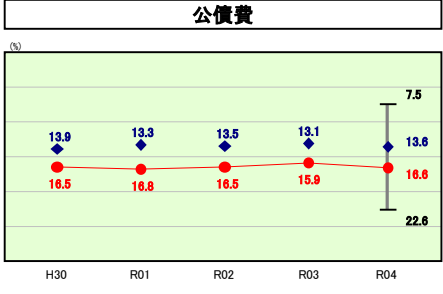
サービス利用者の増などによる障害児通所支援や介護給付費・訓練等給付費などの増により、経常収支比率は増加した。  
 依然として類似団体平均を上回っているため、資格審査の適正化などを図り、適正な給付に努める必要がある。



類似団体内順位 19/23 全国平均 12.4 佐賀県平均 13.2

**その他の分析欄**

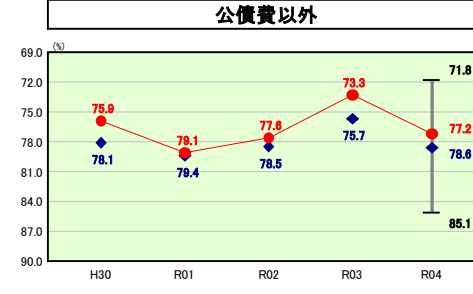
繰出金、維持補修費の支出は減少したが、充当財源の減少により経常収支比率が増加した。  
 依然として類似団体平均を上回っているため、公共施設等総合管理計画に基づく施設の統廃合などに努める必要がある。



類似団体内順位 20/23 全国平均 16.0 佐賀県平均 17.1

**公債費の分析欄**

合併特例事業債等に係る元利償還金の増により、経常収支比率は増加した。  
 依然として類似団体平均を上回っているため、今後も普通建設事業等の見直しによる地方債の発行抑制等に努める必要がある。



類似団体内順位 7/23 全国平均 76.2 佐賀県平均 73.4

**公債費以外の分析欄**

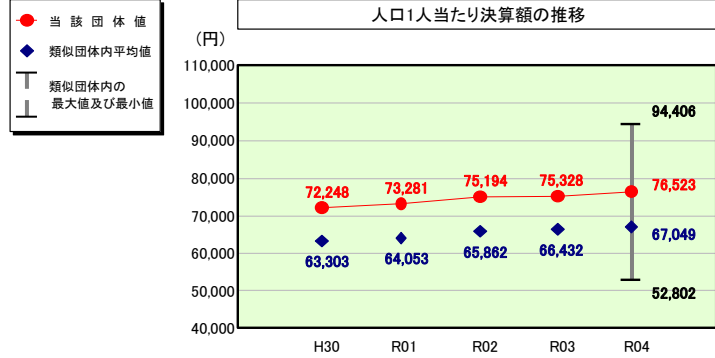
人件費や物件費などの増により、経常収支比率は増加した。  
 今後も、効率的な行財運営などによる財政の健全性を確保し、経常収支比率の改善に努めていく。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和4年度

佐賀県佐賀市

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



### 人件費及び人件費に準ずる費用

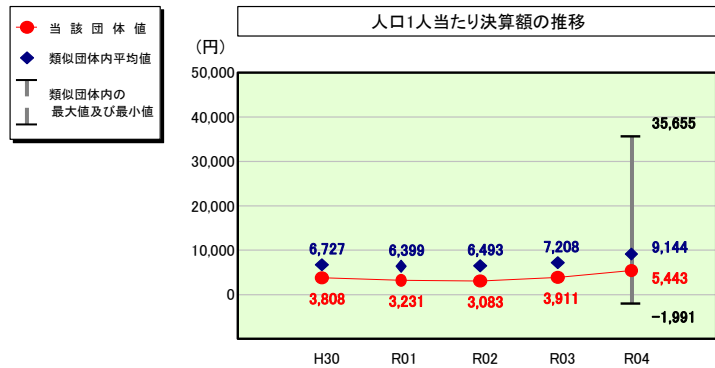
項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	15,704,749	68,452	63,654	7.5
一部事務組合負担金(補助費等)	2,415,945	10,530	2,232	371.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	92,518	403	1,758	▲ 77.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	37	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	476,016	2,075	1,692	22.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	165,797	723	1,307	▲ 44.7
▲退職金	▲ 1,298,498	▲ 5,660	▲ 3,631	55.9
合計	17,556,527	76,523	67,049	14.1

### 参考

項目	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.35	6.44	▲ 0.09
ラスパイレズ指数	98.7	99.5	▲ 0.8

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

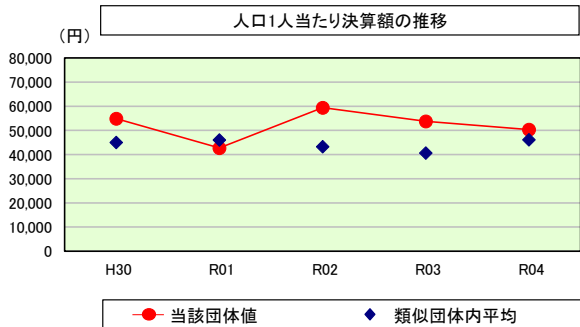


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額(繰上償還額等を除く)	9,711,127	42,328	30,950	36.8
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの(年度割相当額)	-	-	22	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	1,084,076	4,725	7,929	▲ 40.4
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	455,723	1,986	497	299.6
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	25,569	111	1,271	▲ 91.3
一時借入金利子(同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	▲ 947,644	▲ 4,130	▲ 7,248	▲ 43.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 9,080,171	▲ 39,578	▲ 24,279	63.0
合計	1,248,680	5,443	9,144	▲ 40.5

※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

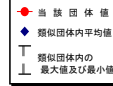
年度	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額					
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)	
H30	12,809,688	54,879	▲ 18.0	45,022	▲ 0.9	▲ 17.1	
	うち単独分	7,017,178	30,063	▲ 20.6	25,247	3.0	▲ 23.6
R01	9,936,296	42,741	▲ 22.1	46,035	2.3	▲ 24.4	
	うち単独分	5,072,224	21,818	▲ 27.4	25,158	▲ 0.4	▲ 27.0
R02	13,766,486	59,428	39.0	43,261	▲ 6.0	45.0	
	うち単独分	7,741,599	33,420	53.2	24,721	▲ 1.7	54.9
R03	12,383,836	53,769	▲ 9.5	40,626	▲ 6.1	▲ 3.4	
	うち単独分	6,565,925	28,508	▲ 14.7	24,279	▲ 1.8	▲ 12.9
R04	11,555,573	50,367	▲ 6.3	46,133	13.6	▲ 19.9	
	うち単独分	5,844,871	25,476	▲ 10.6	27,280	12.4	▲ 23.0
過去5年間平均	12,090,376	52,237	▲ 3.4	44,215	0.6	▲ 4.0	
	うち単独分	6,448,359	27,857	▲ 4.0	25,337	2.3	▲ 6.3

# (5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

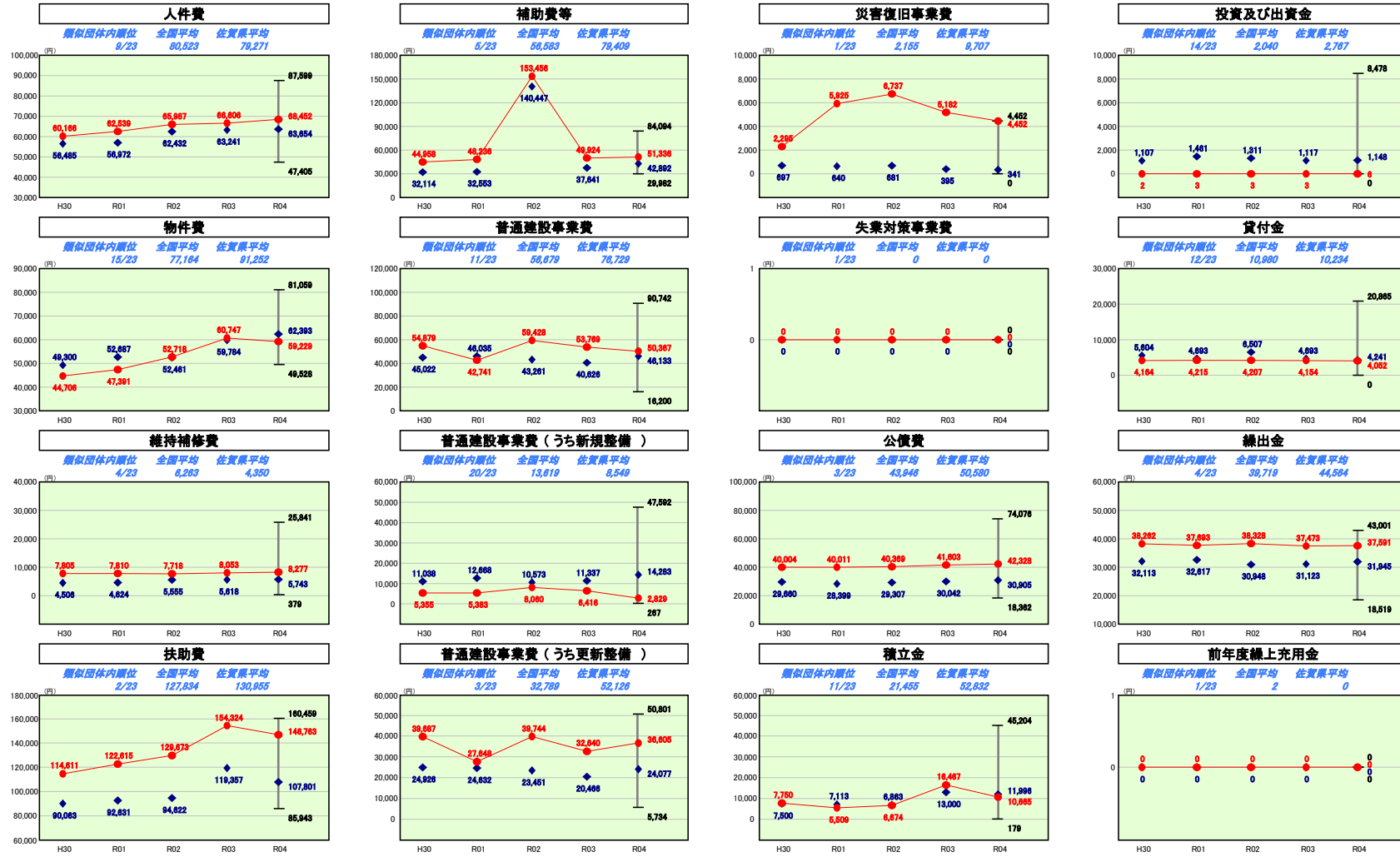
令和4年度

佐賀県佐賀市

人口	229,427人 (R5.1.1現在)	実質赤字比率	-	96
うち日本人	227,365人 (R5.1.1現在)	道徳実質赤字比率	-	96
面積	431.82 km <sup>2</sup>	実質公債費比率	2.0	96
歳入総額	113,882,747千円	将来負担比率	-	96
歳出総額	110,932,324千円	市町村類型	H30 特例市 R01 特例市 R02 特例市	
実質収支	2,101,439千円	(年度毎)	R03 特例市 R04 特例市	
標準財政規模	55,093,331千円			
地方債現在高	92,405,727千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**性質別歳出の分析概**

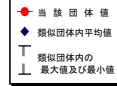
【扶助費】住民一人当たり146,763円となっており、前年度から減少している。これは、新型コロナウイルスや物価高騰対策として実施した給付金の減などが主な要因である。  
 【普通建設事業費(更新)】住民一人当たり36,609円となっており、前年度から増加している。その要因は、中学校屋内運動場改築や支所庁舎整備、文化会館整備などであり、依然として類似団体平均よりも高い水準が続いている。公共施設等総合管理計画に基づき、施設の集約、複合化等による経量削減などに努める必要がある。  
 【災害復旧事業費】住民一人当たり4,452円となっており、前年度より減少したものの類似団体平均を大きく上回っている。これは、R3年8月豪雨災害、R4年8月豪雨災害等による農地・農業用施設、公共土木施設の災害復旧によるものである。  
 【積立金】住民一人当たり10,665円となっており、前年度から減少している。これは、公共用施設建設基金の減などが主な要因である。

# (6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和4年度

佐賀県佐賀市

人口	229,427人 (R5.1.1現在)	実質赤字比率	-	96
うち日本人	227,365人 (R5.1.1現在)	道徳実質赤字比率	-	96
面積	431.82 km <sup>2</sup>	実質公債費比率	2.0	96
歳入総額	113,882,747千円	将来負担比率	-	96
歳出総額	110,932,324千円	市町村類型	H30 特別市 R01 特別市 R02 特別市	
実質収支	2,101,439千円	(年度毎)	R03 特別市 R04 特別市	
標準財政規模	55,093,331千円			
地方債現在高	92,405,727千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



### 目的別歳出の分析

【民生費】住民一人当たり196,277円となっており、前年度から減少している。これは、新型コロナウイルスや物価高騰対策として実施した給付金の減などが主な要因である。  
 【消防費】住民一人当たり17,679円となっており、前年度までに実施した防災総合システム整備が完了したことなどにより減少している。しかし、佐賀広域消防局・佐賀消防署の建設負担金などにより、高い水準で推移している。  
 【教育費】住民一人当たり47,871円となっており、前年度から減少している。これは、三重津海軍所跡ガイダンス施設整備の完了による減などが主な要因である。今後は、令和6年度開催のSAGA2024国スポ・全障スポ大会に関する経費が増加する見込みである。  
 【公債費】住民一人当たり42,328円となっており、前年度から増加している。これは、過去に借り入れた合併特例事業債、臨時財政対策債に関する償還額の増によるものである。

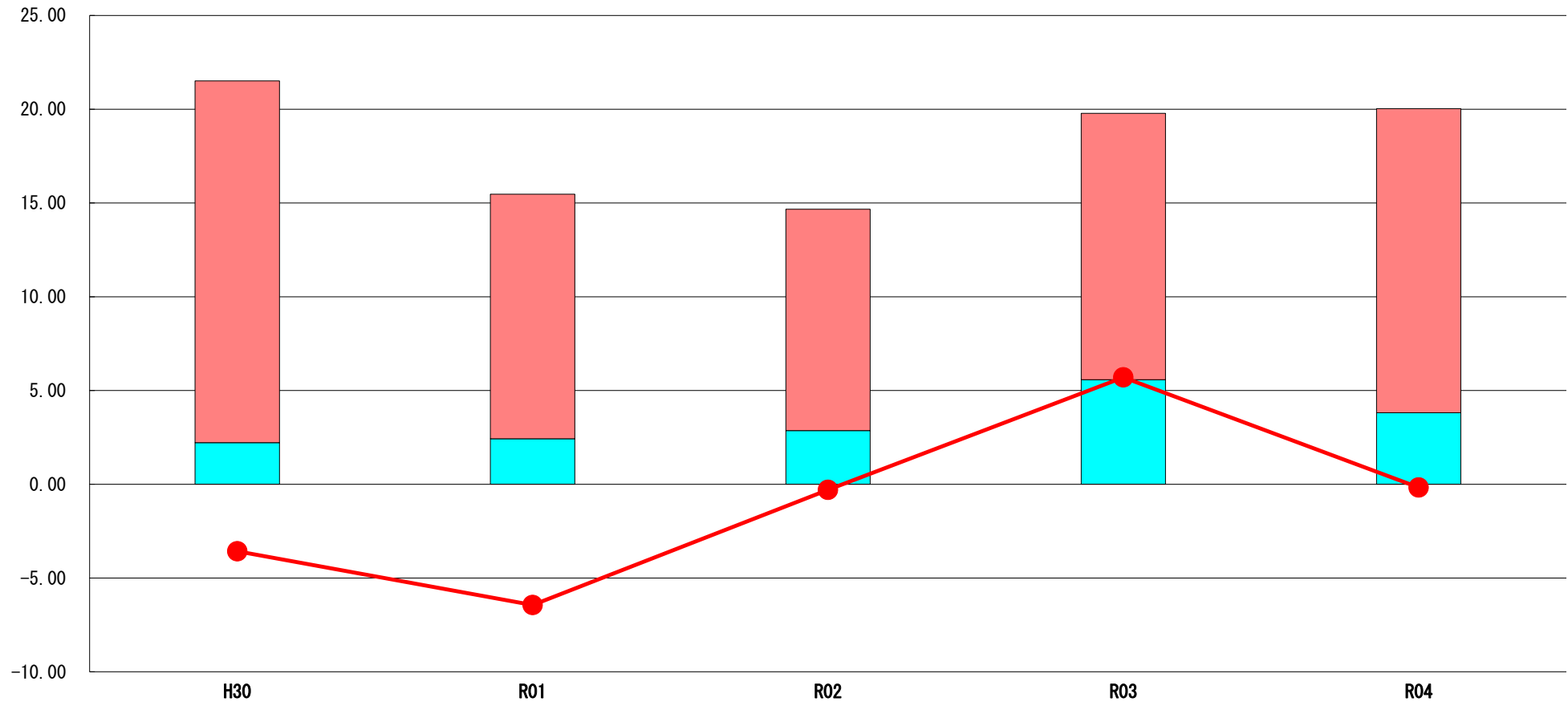


# (7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




令和4年度

佐賀県佐賀市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	H30	R01	R02	R03	R04
 財政調整基金残高		19.29	13.04	11.81	14.20	16.22
 実質収支額		2.22	2.43	2.86	5.58	3.81
 実質単年度収支		▲ 3.57	▲ 6.44	▲ 0.30	5.70	▲ 0.17

## 分析欄

財政調整基金残高は、約6.6億円を取り崩したが、前年度決算剰余金を16億円積み立てたことから、前年度から約9.5億円増加し、標準財政規模比は2.02ポイント増の16.22%となった。

実質収支額は、普通交付税や臨時財政対策債の減少などにより、約10.4億円減少し、標準財政規模比は1.77ポイント減の3.81%となった。

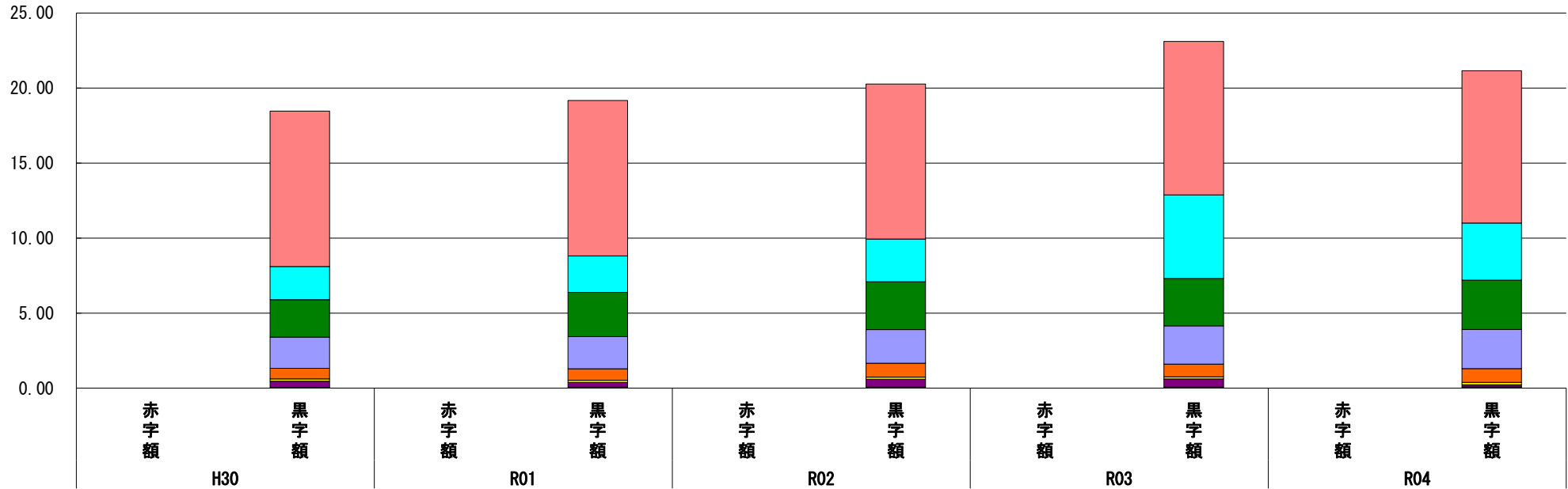
実質単年度収支は約33億円減少し、標準財政規模比は5.87ポイント減の▲0.17%となった。

# (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和4年度

佐賀県佐賀市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H30	R01	R02	R03	R04
水道事業会計		10.36	10.37	10.33	10.23	10.15
一般会計		2.22	2.43	2.85	5.57	3.81
下水道事業会計		2.49	2.95	3.19	3.16	3.29
富士大和温泉病院事業会計		2.08	2.14	2.24	2.55	2.61
自動車運送事業会計		0.71	0.77	0.93	0.85	0.92
後期高齢者医療特別会計		0.15	0.14	0.14	0.14	0.16
国民健康保険特別会計		0.41	0.32	0.53	0.55	0.15
工業用水道事業会計		0.05	0.06	0.06	0.06	0.07
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## 分析欄

全ての会計において、黒字で推移している。  
 一般会計では、普通交付税や臨時財政対策債の減少などにより、実質収支額が約10.4億円減少し、標準財政規模比は1.76ポイント減少した。  
 富士大和温泉病院事業会計では、新型コロナウイルス感染症の影響等により入院・外来の患者数が減少したものの、看護補助体制加算等による入院・外来単価の増加などにより、標準財政規模比は0.06ポイント増加した。  
 国民健康保険特別会計では、保険税率の引下げや被保険者数の減少により、保険税収入が減少したことなどから実質収支額が約2.3億円減少したため、標準財政規模比が0.4ポイント減少した。

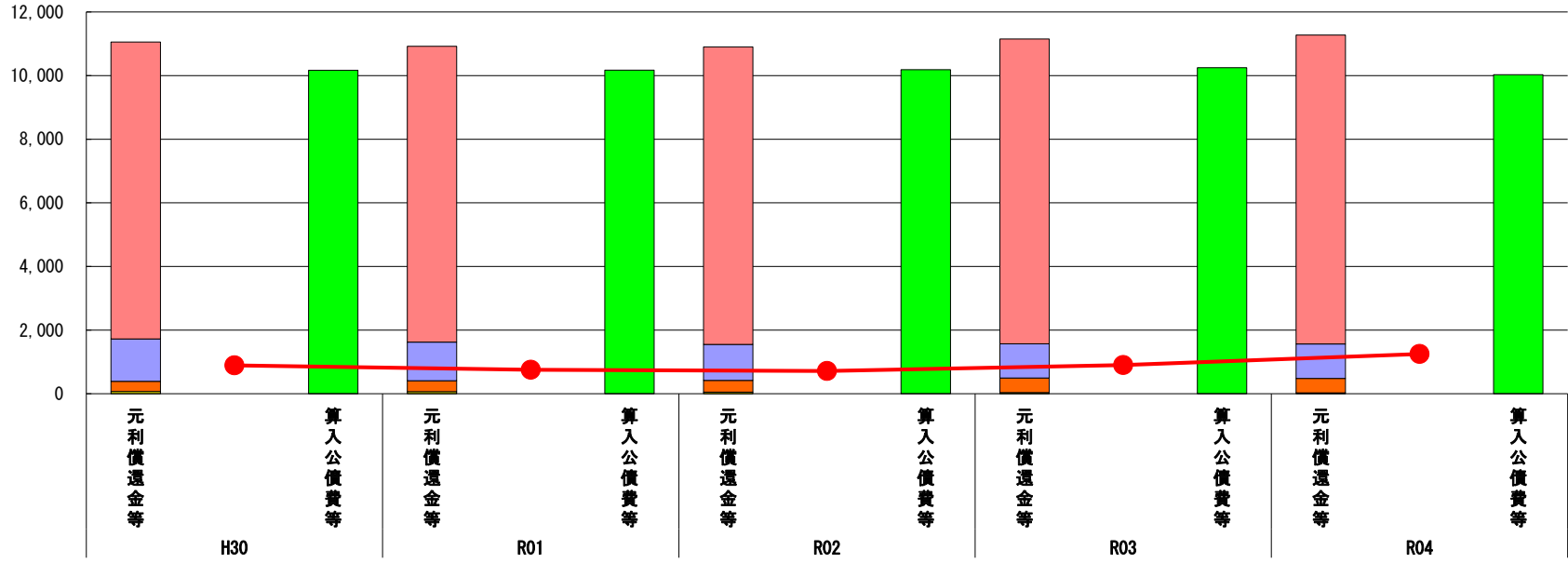
※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和4年度

佐賀県佐賀市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H30	R01	R02	R03	R04
元利償還金等(A)	元利償還金		9,334	9,301	9,349	9,582	9,711
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,334	1,216	1,132	1,075	1,084
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		320	343	369	456	456
	債務負担行為に基づく支出額		67	63	51	36	26
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		10,166	10,171	10,187	10,249	10,029
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		889	752	714	900	1,248

**分析欄**

元利償還金等は、合併特例事業債や臨時財政対策債などに係る元利償還金が約1.3億円増加した。

算入公債費等は、災害復旧費等や公債費に係る基準財政需要額の減少が主な要因となり、減少した。

今後も、普通建設事業等の見直しによる地方債の発行抑制や、交付税措置がある有利な地方債の借入を行うなどの取組に努めていく。

※1 令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※2 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

(百万円)

減債基金積立状況等(注)		年度	H30	R01	R02	R03	R04
減債基金積立状況等(注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額(C)						
	前年度末減債基金残高(D)						
	前年度末減債基金積立相当額(E)						

**分析欄**

満期一括償還地方債は発行していない。

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

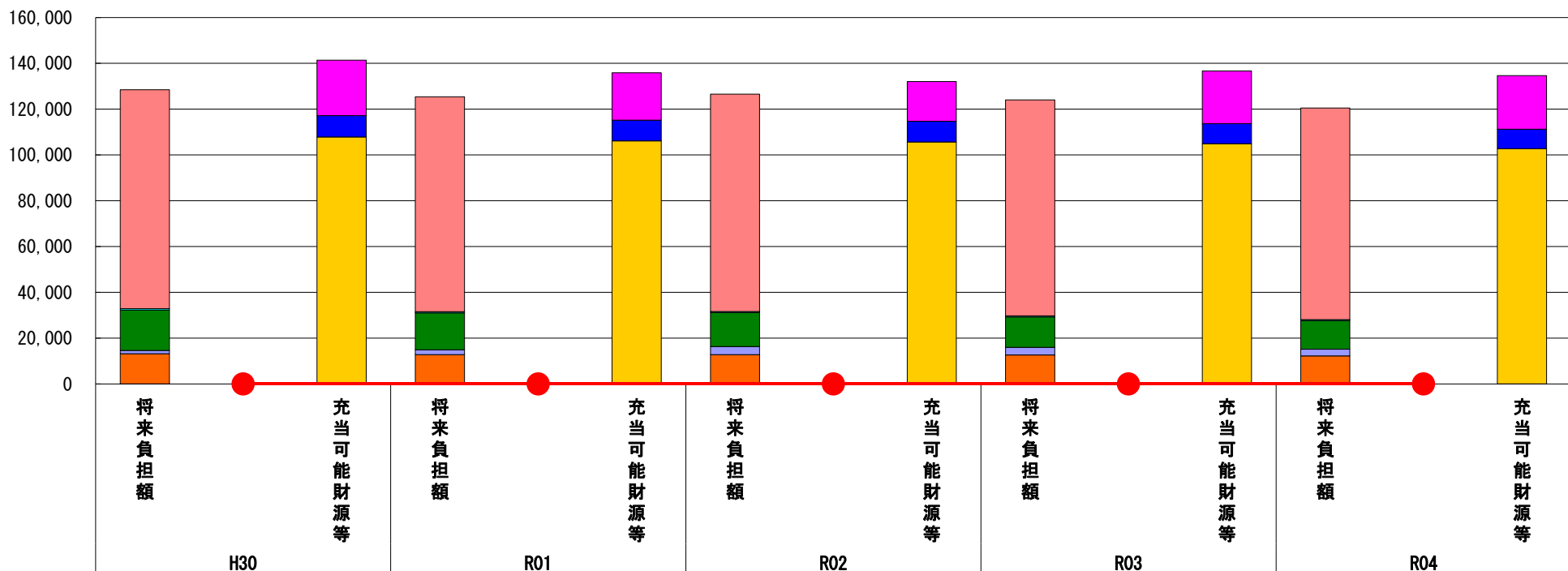
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和4年度

佐賀県佐賀市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H30	R01	R02	R03	R04
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		95,554	93,790	94,921	94,303	92,406
	債務負担行為に基づく支出予定額		599	547	507	481	465
	公営企業債等繰入見込額		17,650	16,102	14,775	13,269	12,463
	組合等負担等見込額		1,408	2,152	3,559	3,341	2,908
	退職手当負担見込額		13,226	12,783	12,806	12,658	12,242
	設立法人等の負債額等負担見込額		1	1	0	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		24,190	20,714	17,355	22,968	23,438
	充当可能特定歳入		9,334	9,055	9,021	8,813	8,495
	基準財政需要額算入見込額		107,863	106,139	105,680	104,919	102,753
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 12,949	▲ 10,534	▲ 5,489	▲ 12,648	▲ 14,202

## 分析欄

将来負担額は前年度から約35.7億円減少した。このうち、一般会計等に係る地方債の現在高は、過去に借り入れた合併特例事業債の償還が進んだことなどから、約19億円減少している。

公営企業債等繰入見込額は、下水道事業会計で企業債の償還が進んだことなどから、約8.1億円減少している。

一方、充当可能財源等は、前年度から約20.1億円増加した。このうち、充当可能基金は、財政調整基金などの増により、残高が約4.7億円増加した。

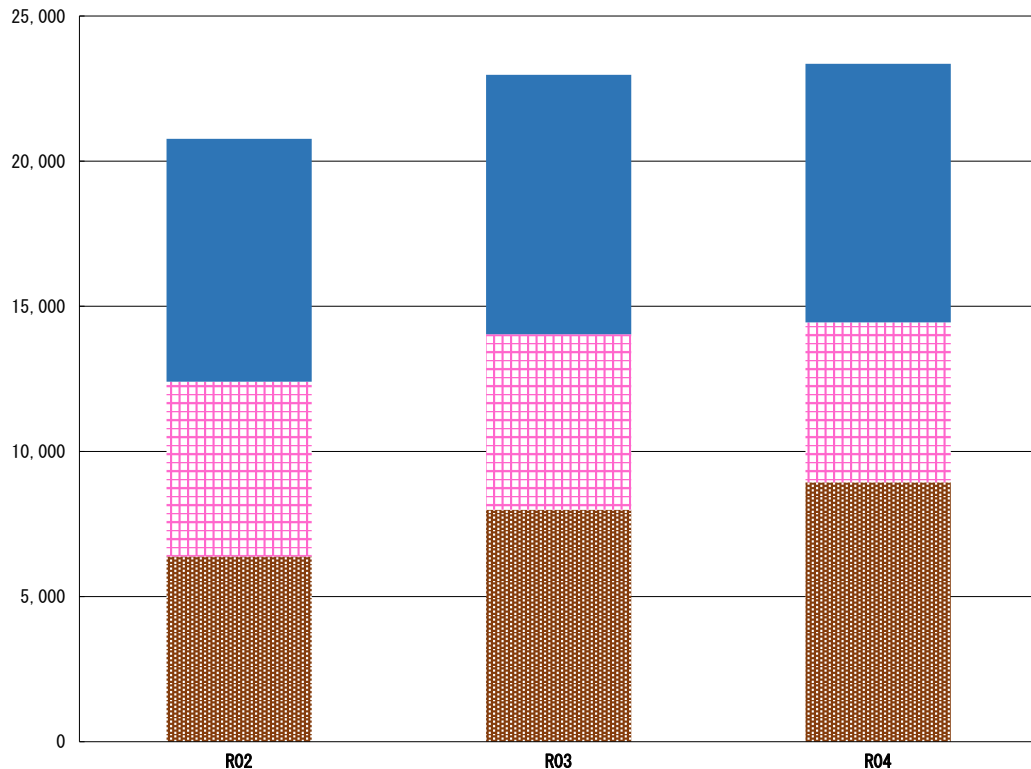
このようなことから、充当可能財源等が将来負担額を上回り、将来負担比率の分子は前年度から約15.5億円減の約△142億円となった。

今後も、将来世代の負担を軽減し、健全な財政運営を維持するため、市債発行の抑制や基金残高の確保などに努めていく。

※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

(百万円)



(百万円)

区分	年度	R02	R03	R04
財政調整基金		6,380	7,992	8,937
減債基金		6,023	6,047	5,509
その他特定目的基金		8,366	8,936	8,909
公共用施設建設基金		1,210	2,470	2,473
合併振興基金		2,896	2,224	2,224
地域福祉基金		1,868	1,868	1,868
ふるさと応援基金		834	824	797
廃棄物処理施設建設基金		532	532	533
基金残高合計		20,769	22,974	23,355

令和4年度

佐賀県佐賀市

## 基金全体

(増減理由)  
財政調整のため、財政調整基金を約6.6億円、減債基金を約5.8億円取り崩した一方で、前年度決算剰余金等で財政調整基金に16億円積み立てたことなどにより、基金全体として約3.8億円増加した。

(今後の方針)  
社会保障経費の累増、公共施設の老朽化に伴う改修経費の増加などが見込まれ、また、SAGA2024国スポ・全障スポ大会開催経費などの財政需要への対応が必要であるなど、財政状況は一段と厳しくなる見込みであるため、計画的な基金の活用が必要である。

## 財政調整基金

(増減理由)  
・市税の堅調な推移や普通交付税の増額交付などにより取崩が抑制でき、また、前年度決算剰余金等の積立を行ったことにより、残高は増加した。

(今後の方針)  
社会保障経費の累増や公共施設の老朽化に伴う改修経費の増加、また、SAGA2024国スポ・全障スポ大会開催経費への対応が求められることから、基金からの取崩は避けられない見込みである。  
しかし、災害対応等の緊急的な予算措置に対応できるよう、一定水準の残高は確保しなければならないことから、効率的な行財政経営に努める必要がある。

## 減債基金

(増減理由)  
合併特例債などの償還額の増に対応するため取崩を行ったことにより、残高は減少した。

(今後の方針)  
財政調整基金とともに、一定の残高水準を維持できるよう計画的な活用を行う。

## その他特定目的基金

(基金の使途)  
・公共用施設建設基金：公共用施設の建設資金に充てるため  
・合併振興基金：市民の連帯の強化及び一体感の醸成並びに本市の振興を図る事業の資金に充てるため  
・地域福祉基金：本市の在宅福祉事業、ボランティア活動事業、健康・生きがいがいづくり事業その他の地域福祉の充実に寄与する事業の資金に充てるため  
・ふるさと応援基金：佐賀市を心のふるさととして応援する者等から寄せられる寄附金を、佐賀市がより良いふるさとであり続けるための事業の資金に充てるため  
・廃棄物処理施設建設基金：廃棄物処理施設の建設資金に充てるため

(増減理由)  
ふるさと応援基金：ふるさと納税の減による減少

(今後の方針)  
ふるさと応援基金については、ふるさと納税の寄附金増に繋がるよう効果的な取組を行い、様々な事業の財源として有効に活用する。